JUDI JOURNAL

第7号　人と街づくりを考える情報誌　2021年5月

大学を活かした東京都心のまちづくり
桜田通りのイメージ（2017）

相原駅周辺まちづくり提案イメージ
（2019）

大宮氷川参道将来像の提案イメージ
（2005）

世田谷ボロ市代官屋敷界隈商店街
活性化まちづくり（2017）

巻頭- 羅針盤

一枚の絵からはじまるまちづくり
「アーバン・イラストレーション」

　都市計画やまちづくりの最終形がまだ固まっていない状態で、その計画の方向性やイメージを「アーバン・イラストレーション」と名付け、これから生まれる空間を画像で表現する仕事に関わってきた。アーバン・イラストレーションと建築パースとの大きな違いは、計画図面が存在しない段階で、これから生まれようとするまちの空間、景観を描くところにあり、計画全体の中でのステップとしては建築の世界のエスキスというよりむしろスケッチに近いかもしれない。
　まちづくりは、「ヒト・モノ・コト」の具体的な取り扱いの事業であるといわれている。かねてから、行政、専門家、デベロッパー、住民等の数多くの関係者にとっての共通言語の必要性が指摘されており、専門用語を目で見える形に置き換えて描き、描かれた空間の中での人々の行動も含めて表現するのが「アーバン・イラストレーション」の役割で、人々がそれぞれに自分の中で、これからのまちやそこでの暮らしのイメージを、写真やコンピュータグラフィックでは描ききれない空気感を描くことで感じられるようにするところが、その大きな目的であるといえる。ときには、「地域のアイデンティティを見直す表現」「重厚さと軽快さを含んだ交流空間」などという注文もあるが、人々の日々の様々な暮らしにかかわるまちづくり計画では、まずもって、そこでの人々の生活がイメージできることが不可欠といえる。
　そのために「アーバン・イラストレーション」で描くものは、例えば、整備前と整備後イメージの比較、まちなみコントロールやまちなみデザイン・まち空間の使い方のためのイラストレーション、景観計画、などがあげられる。
　都市計画やまちづくりは計画から実施されるまでの時間が長いため、整備前、整備イメージと、整備後の姿を実際に目にして比較することは、かつては難しかった。だが、各都市の情報がネット発信され、それを検索することができる現在では、思いがけず20年30年前に描いたまちが具体化している姿を確認できることもあり、大変感慨深いものがある。

㈱アーバンイラスト制作室/関東ブロック
木村圭子

詳細へGO＞

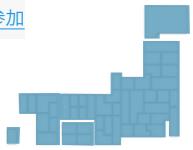
2021年2月-2020年4月の活動概要

30周年記念事業実行委員会
2021/2/4

【記念事業の検討】

30周年記念事業実行委員会開催

#テーマ
#記念誌
#記念フォーラム
#情報発信
#会員参加

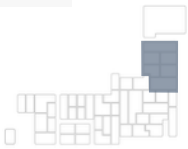


東北ブロック
2021/2/6

【鶴岡まちなかキネマ再生】

鶴岡まちなかキネマ再生・賑わいづくりフォーラム第１回

＃まちなかキネマ
＃産業遺産活用
＃市民交流
＃まちづくり



東北ブロック
2021/2/21

【鶴岡まちなかキネマ再生】

鶴岡まちなかキネマ再生・賑わいづくりフォーラム第2回

高谷時彦氏投稿へGO＞

＃まちなかキネマ
＃産業遺産活用
＃市民交流
＃まちづくり
＃文化政策

関西+九州ブロック
2021/3/1

詳細へGO ＞

【東日本大震災の知の継承】

第2回都市環境デザインセミナー「災害復興：世代を繋ぐ、知の継承」

＃東日本大震災
＃気仙沼

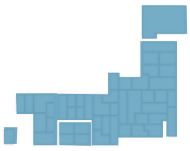
広報委員会
2021/3/10

詳細へGO ＞

【ライブ配信】

JUDI JOURNAL 2021年2月号発行

FaceBookライブへGO>

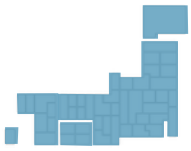


国際委員会
2021/3/20

【季刊情報誌】

JUDI通信2021春号(No.19) 発行

国際委員会HPへGO＞



関西+九州ブロック
2021/3/26

詳細へGO ＞

【東日本大震災の知の継承】

第3回都市環境デザインセミナー「災害復興：世代を繋ぐ、知の継承」

＃中越地震
＃熊本地震
＃まちづくり
＃災害復興

全国
2021/2/5～3/1

【記時が醸す豊かな暮らし「桑折の作法」】

北前船プロジェクト　福島県桑折町まちづくり、景観づくり検討会第3～6回

＃まち中みちの駅
＃道路景観デザイン
＃辻広場
＃まち中図書館
＃もてなし空間
＃用水活用再生

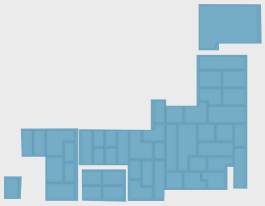
伊藤登氏投稿へGO＞

30周年記念事業実行委員会

30周年記念事業実行委員会開催

30周年記念事業実行委員会が開催されました。
記念事業のテーマ設定、記念誌の発行、記念フォーラム実施について、また、記念事業に関する情報を発信し、いかに多くのJUDI会員に参画いただくか等について、意見交換が進められました。
リモート会議導入により全委員が参加。全国10ブロックが揃ってJUDIの歴史、意義、価値、将来への期待等を議論することができるなど、とても素晴らしい集まりとなっています。

FaceBookへGO＞



活動概要へ戻る＞

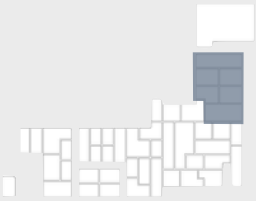
東北ブロック

鶴岡まちなかキネマ再生・賑わいづくりフォーラム第１回

昨年11月に、まちキネの存続と再生を願う会主催による「まちキネの創造的再生とまちづくりを考えるフォーラム」が開催され鶴岡市の計画案と、JUDI会員でまちキネ設計者である高谷時彦さんの代替案が提案されました。

そこで、鶴岡市にとってより創造的な解決を探るため、東北ブロック主催による「鶴岡まちなかキネマ再生、賑わいづくりフォーラム」をzoom会議形式で開催しました。第１回は30人弱のご参加を得て、マチキネの現状と課題を共有するとともに、代替案の可能性について議論が交わされました。

FaceBookへGO＞



活動概要へ戻る＞

東北ブロック

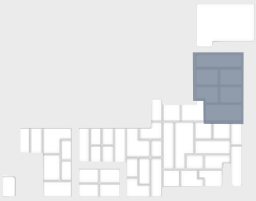
鶴岡まちなかキネマ再生・賑わいづくりフォーラム第２回

例第２回目のフォーラムもZoom会議形式で行われました。はじめに、先に示されたマチキネ存続のための代替案をブラッシュアップした新たなプランが示され、参加者から多くの賛同が得られました。その一方で、市当局の立場も尊重しつつプランを示すことが必要、プランについて土地手当の返済可能なランニングは必要、隣接地で計画中の永山亭とマチキネの一体的な戦略が必要、文化政策は長期的に取り組むべきもの、市民も巻き込んだ議論が必要など、多くの課題もあげられました。

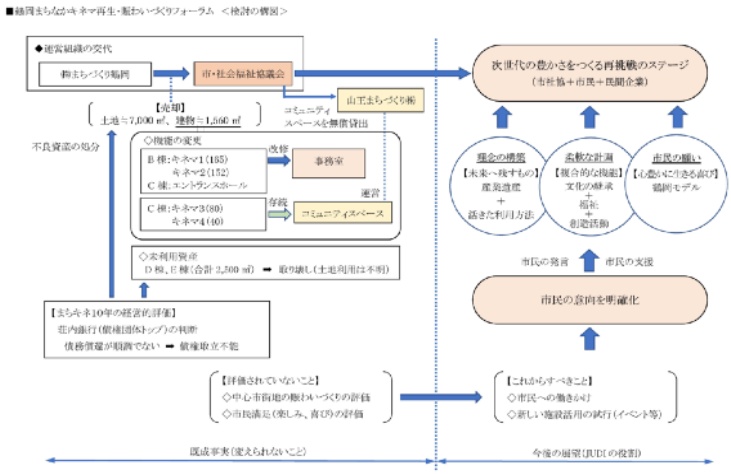
3月20日に開催される、まちキネの存続と再生を願う会主催による２回目のフォーラムの状況を踏まえ、今後のJUDIとしての関わり方を検討していきたいと思います。

高谷時彦氏投稿へGO＞

FaceBookへGO＞



活動概要へ戻る＞



関西+九州ブロック

第２回都市環境デザインセミナー「災害復興：世代を繋ぐ、知の継承」

災害復興：世代を繋ぐ、知の継承―第2回は、「東日本大震災の知の継承」をテーマに開催しました。

東日本大震災の復興は、大規模な公共事業を中心とした復興と言われています。

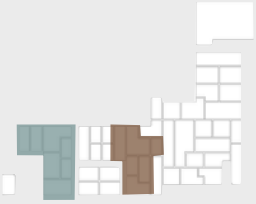
そのような状況下でも、第１回のキーワードを踏まえれば、復興や防災に特化した「特殊な」まちづくりではない、普通の「まちづくり」が行われている事例をお話しいただきました。

気仙沼市内湾地区の現場の報告から、大災害後の復興まちづくり・復興都市計画を通して何を受け継ぎ、次の被災地や次の世代に何を継承することができるのか、考える場としました。

世話人 柴田祐（九州ブロック）

記録は、JUDI関西ホームページにアップしました。

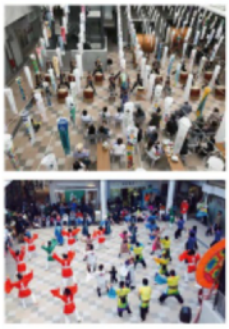
レポートへGO>



活動概要へ戻る>

世話人　柴田　祐（九州ブロック）

＊経験の伝達３（吉川健一郎）
気仙沼市内湾地区における住民主体の復興まちづくりでできたこと・できなかったこと
＊経験の伝達４（阿部俊彦）
気仙沼の防潮堤問題と住民主体のまちづくり
・コメント１
姥浦道生（東北大学）
・コメント２
畑　文隆（西宮市）



※記録の写真を掲載しています。全貌は、JUDI 関西のホームページまで。

関西+九州ブロック

第３回都市環境デザインセミナー「災害復興：世代を繋ぐ、知の継承」

最終回として「中越地震・熊本地震から未来の被災地への知の継承」をテーマに、下記のとおり開催しました。

中越地震では、これまでの災害復興の教訓を参考にしながら、地域性を考慮した独自の復興の取組が展開されました。熊本地震でも、地域の専門家が被災地の活動を支えると共に、外部から被災経験あるいは応援経験を持つ専門家が、復興の支援に赴きました。

まず中越地震、熊本地震において、地域の専門家として外部支援の受入や地域の復興まちづくりのコーディネートを行った二名の研究者から、被災後、何を考え、どう行動したのか、また外部からの復興の知識・経験をどのようにローカライズしていったのかご報告いただき、被災自治体の立場から熊本県益城町の職員の方にコメントいただきました。

その後、第1回の報告者である二名の先生にも加わっていただき、次の被災地や次の世代に、何をどのように継承すべきなのか考えました。

世話人　紅谷昇平（都市計画学会関西支部）

記録は、JUDI関西ホームページにアップしています。

レポートへGO>

活動概要へ戻る>

全国

北前船プロジェクト　福島県桑折町まちづくり、景観づくり検討会第３～６回

北前船プロジェクト「福島県桑折町のまちづくり、景観づくり検討会」が全6回にわたりWEBで開催されました。東北の雄、伊達家発祥の地、奥州街道と羽州街道の分岐点である追分のある町、色んな可能性を秘めた町の将来像を議論しました。

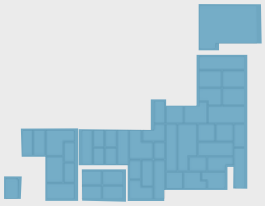
検討会では地元桑折町商工会の渋谷さん、事務局長さん、他を交えて、桑折町のこれまでの動きや現状について話され、追分の町、諏訪神社の御柱祭などにみられる住民パワー、しかしその一方で街道の風情が薄れ、地域商業も衰退が見られるなど多くの課題が明らかになりました。

それらを踏まえ、「時が醸す豊かな暮らし『桑折の作法』～守りたいこと、伝えたいこと～」をコンセプトとして、県道（奥州街道）の望ましい姿や魅力いっぱいの路地空間などのイメージを、参加メンバーが分担し検討をすすめました。

FaceBook(2/15)へGO＞

FaceBook(3/1)へGO＞

伊藤登氏投稿へGO＞



活動概要へ戻る＞

最終の提案書は、地元商工会の皆様にもご参加頂き確認頂きました。

時が醸す豊かな暮らし「桑折の作法」を全体コンセプトに、まち中みちの駅を目指して、2020提案の道路とまちなみ景観ーみんなで創ろう（桑折の作法：受継ぎ装う）と、将来提案のまち中みちの駅ーもてなしを創ろう（桑折の作法：受継ぎ遇す）、少しずつ創ろう（桑折の作法：受継ぎ装う）を、整備イメージや他所事例、国の施策なども交えてまとめられました。

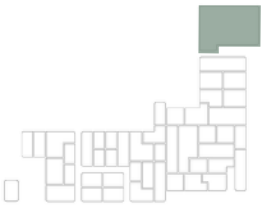
提案書は商工会から県、町に提出され、新年度も引き続きJUDIと商工会、地元の皆さんとともにこの計画の実現に向けて取り組んでいくことが確認されました。

活動詳細はブロックオリジナルサイトへ

北海道ブロック

北海道

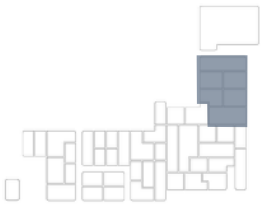
詳細へGO ＞



東北ブロック

青森県 秋田県 山形県 宮城県 福島県

詳細へGO ＞



北陸ブロック

石川県 富山県 福井県 新潟県

詳細へGO ＞

関東ブロック

東京都 埼玉県 千葉県 神奈川県 栃木県 群馬県 茨城県 山梨県 長野県

詳細へGO ＞

まちづくりのプロ集団

都市環境デザイン会議とは？

詳細へGO ＞

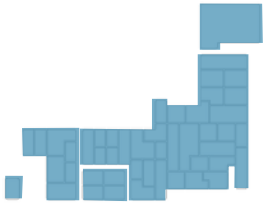
入会申込みへGO＞

公式FaceBook

活動FaceBook

国際委員会

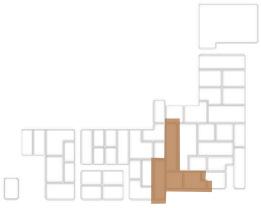
詳細へGO ＞



中部ブロック

愛知県 岐阜県 三重県 静岡県

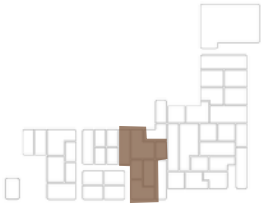
詳細へGO ＞



関西ブロック

大阪府 京都府 滋賀県 兵庫県 和歌山県 奈良県

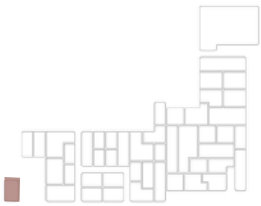
詳細へGO ＞



琉球ブロック

沖縄県

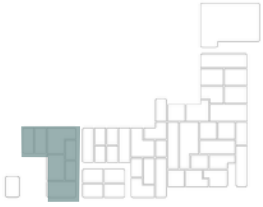
詳細へGO ＞



九州ブロック

福岡県 佐賀県 大分県　長崎県　熊本県 宮崎県　鹿児島県

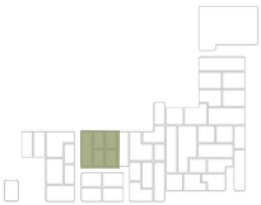
詳細へGO ＞



中国ブロック

山口県 広島県 島根県 鳥取県 岡山県

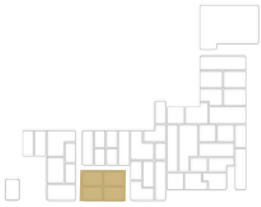
詳細へGO ＞



四国ブロック

愛媛県 香川県 徳島県 高知県

詳細へGO ＞



★JUDI 広報委員会からのお知らせとお願い★

【JUDI JOURNAL で都市環境デザインの和を広く繋げよう！】

・JUDI JOURNAL は、JUDI の様々な活動をはじめ、景観デザイン支援機構（TDA）やパブリックデザインコンソーシアム（PDC）の活動、JUDI 会員が関係する各種活動などを、年4 回に分けてまとめ、会員及び会員以外の方に伝え、都市環境デザインの輪を広く繋げていくためのツールとして発行します。
・JUDI JOURNAL は、主にFaceBook やHP にアップされた情報をもとに編集します。
・JUDI JOURNAL は、PDF 版（A4）とスマートフォンで閲覧できるスクロール版で作成します。いずれも、掲載記事には情報源へのリンクを組み込みますので、それぞれ情報源のFaceBook やHP を簡単に閲覧することができます。

【広報委員になって全国ブロックと交流しよう！】

・現在、広報委員は関東B、関西B、中部B、北陸B、琉球B からの参加で計7 名となっています。地方ブロックから各1 名以上加わって頂くことを理想としています。ぜひ、広報委員会にご参加頂き一緒にJUDI を盛り上げていきましょう。
・広報委員はJUDI 会員であればどなたでも、またいつでも参加可能です。参加希望の方は広報委員またはJUDI 事務局へご一報お願い致します。
・広報委員会の編集会議は毎月1 回、主にZoom で開催。また年2 回、広報委員が所属する地域へ赴き、現地取材やブロック間交流を図ります。

【FaceBook を活用しましょう！】

・各種活動の告知や活動報告を積極的にFaceBook のJUDI クラブまたは各ブロックで開設のFaceBook へアップして頂きますようお願い致します。
・各ブロック独自に地方色を活かしたFaceBook を開設、運用して頂くことを推奨しています。開設後はJUDI クラブとリンクすることで、全国への発信もさらに広がります。
・未開設のブロックにおかれては、ご検討お願い致します。必要に応じて広報委員会がご支援致します。

★JUDI 広報委員会からのお知らせとお願い★

【投稿募集案内掲載】

JUDI JOURNALでは、会員の皆様方からの投稿を募集します。

例えば、
- **FacebookのJUDIクラブにアップした記事の詳細版としての投稿**
- **日頃会員の皆様が取り組んでいる活動を広く紹介したいこと**
- **ブロック便り**

など

ただし、特定の個人や企業の営利を目的とした内容や誹謗中傷的内容などは掲載できません。投稿の掲載可否については広報委員会において審議させて頂きます。

なお、2,000字＋写真5枚／回を上限の目安として、これを超える場合は２号に跨がっての掲載を検討します。投稿希望の方は以下URLより投稿フォームへお進みください。

ふるってのご投稿を、よろしくお願い致します。

投稿フォームURL (以下をクリック)

https://forms.gle/5EVhfpvuM3nxrgZE7

本号のご紹介などを映像でご覧いただけます。

FaceBookライブへGO＞

広報委員会
委員長　上坂達朗(北陸ブロック)
委員　新嘉喜長健(琉球ブロック)
井上洋司(関東ブロック)
岡絵理子(関西ブロック)
金城正紀(関東ブロック)
河崎泰了(中部ブロック)
冨岡仁計(関東ブロック)